



証券コード:1870

第 **81** 期

株主・投資家の皆様へ

2021年4月1日～2022年3月31日



矢作建設工業株式会社



株主・投資家の皆様へ

暮らしに、街に、 新しい価値を届け続けるために。

私たちは、お客様からの信頼に確かな技術でこたえることで
未来へつながる街づくりを目指します。

企業理念

「誠実・進取・創造」

誠実進取で自ら創造し、
常に社会の要請にこたえる事業を行う

経営理念

建設エンジニアリングによる価値創造を通して、
従業員の自己実現と企業の持続的成長を目指す

Contents

ごあいさつ……………	01	プロジェクトの紹介……………	10
連結業績ハイライト……………	02	トピックス……………	13
設備投資・配当金の推移……………	03	SDGsへの取組み……………	15
セグメント別概況／建築事業……………	04	矢作建設グループの概要……………	16
セグメント別概況／土木事業……………	06	会社情報・関連会社紹介……………	17
セグメント別概況／不動産事業等……………	08		

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

矢作建設グループ第81期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の事業の概況と業績等につきまして、ここにご報告申し上げます。

当社は2021年4月に新たな中期経営計画を策定し、第81期がその初年度となります。中期経営計画では、当社グループが目指す2030年度の姿として、「課題解決&価値創造型企業」を新たな目標に設定しました。この期間のうち、前半の5年を基盤構築期間、後半の5年を加速度的成長期間と位置付け、「既存事業の深化・進化」や、「新規分野・領域の探索・開拓」、「つくる(造る・創る)力の増強」といった活動を通じて、その実現を目指してまいります。今回の株主通信では、建築・土木・不動産のセグメント毎に具体的な事業の紹介と併せてその状況をご報告いたします。

当社は本年4月より東証プライム市場上場企業となりました。これからも各分野において建設エンジニアリングを推進し、持続的な成長に向け取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



取締役社長

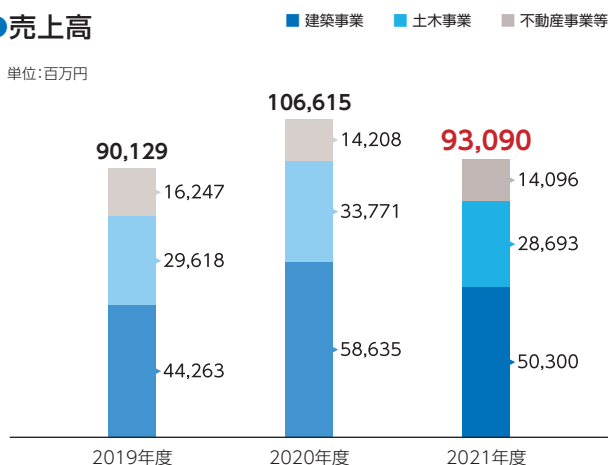
高柳 充広

連結業績ハイライト

当期は、建設事業で、建築工事・土木工事とも期初の手持工事高が前期に比べ減少していたこと、また不動産事業等でも分譲マンション事業における引渡戸数が減少したことなどから、**売上高全体として前期実績を大きく下回りました**。利益につきましても、不動産事業等で自社開発の産業用地の販売が増加し増益となったものの、建設事業での減収の影響による減益幅が大きく、**売上総利益、営業利益及び経常利益の各段階で減益**となりました。しかしながら、**当期純利益は**政策保有株式の売却益を計上したこと、かつ前期のような多額の特別損失計上がなかったことなどから、**前期実績を大きく上回りました**。また、**当期の受注高は**、建築工事・土木工事とも、大型の案件を複数受注したことから、**受注高全体として前期実績を上回りました**。

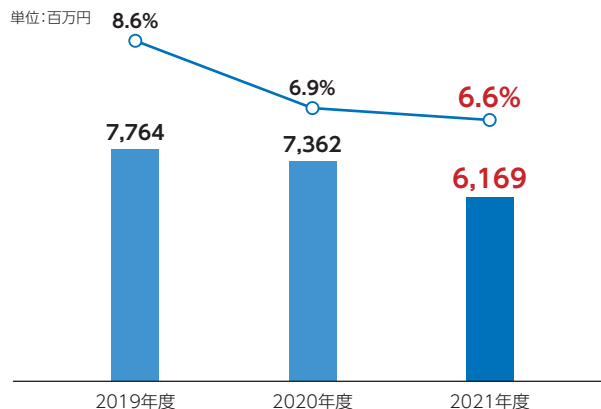
●売上高

単位:百万円



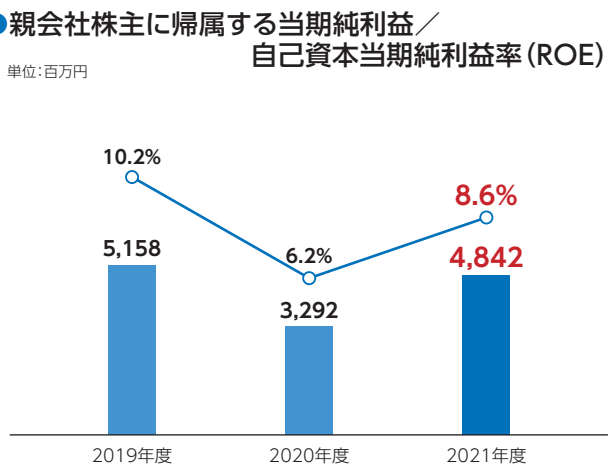
●営業利益／営業利益率

単位:百万円



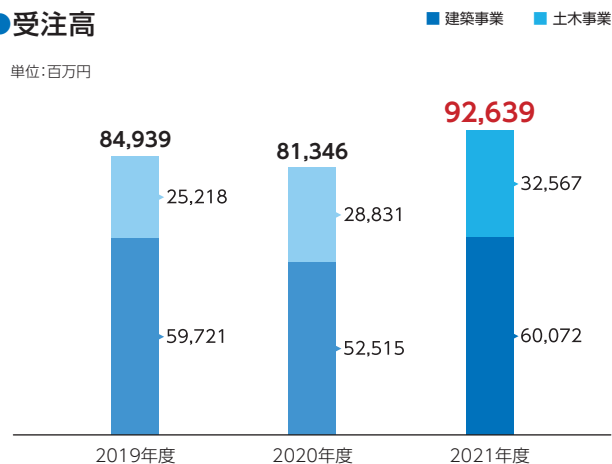
●親会社株主に帰属する当期純利益／自己資本当期純利益率(ROE)

単位:百万円



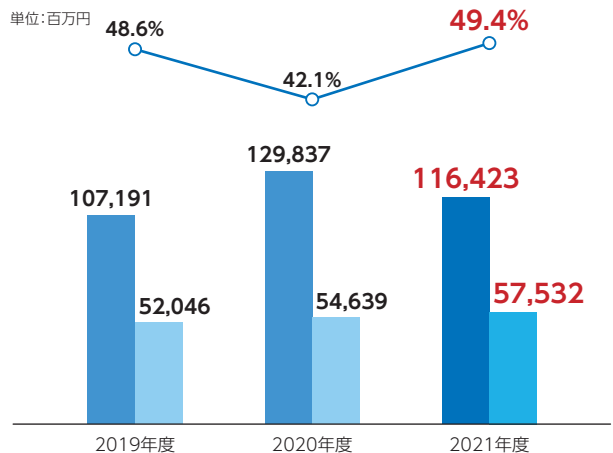
●受注高

単位:百万円



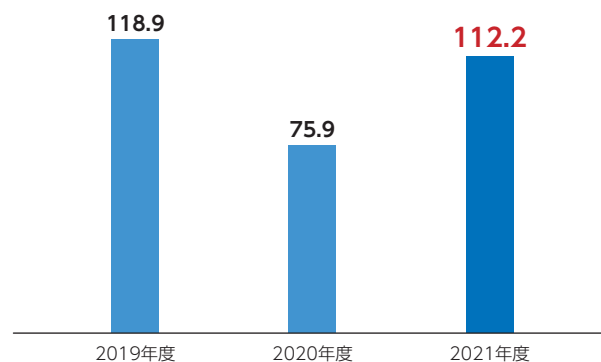
● 総資産／純資産／自己資本比率

単位:百万円



● 1株当たり当期純利益

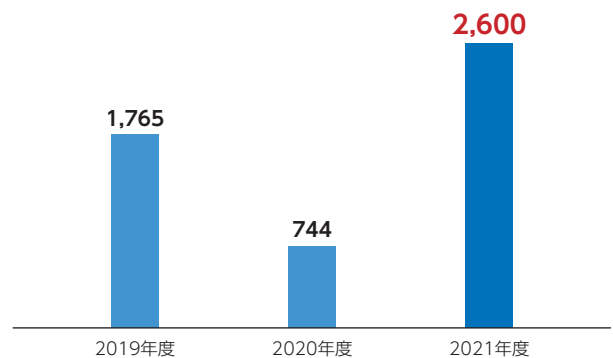
単位:円



設備投資・配当金の推移

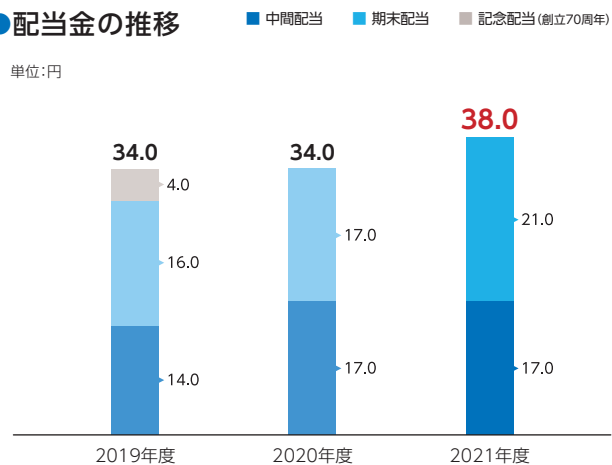
● 設備投資の推移

単位:百万円



● 配当金の推移

単位:円



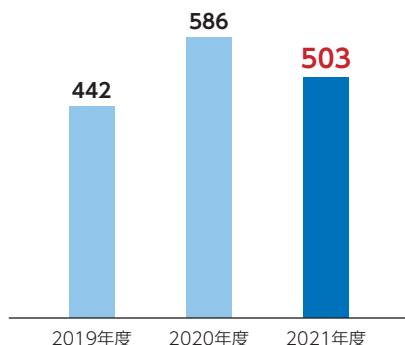
セグメント別概況／建築事業

売上高

503億円

(前期比14.2%減)

単位:億円

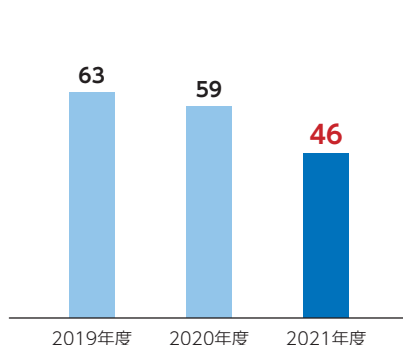


売上総利益

46億円

(前期比21.2%減)

単位:億円

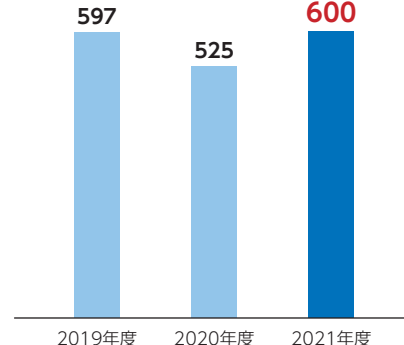


受注高

600億円

(前期比14.4%増)

単位:億円



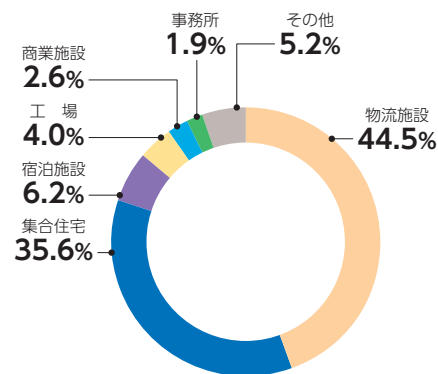
当期業績

売上高は、物流施設やマンション工事などの大型建築工事を中心に施工は概ね順調に進捗したものの、期初の手持工事高が前期に比べ減少していたことから、**前期実績を下回りました**。

売上総利益は、売上高減少の影響により**前期実績を下回りました**。

受注高は、物流施設工事を中心に複数の大型工事を受注したことにより、**前期実績を上回りました**。

売上高の用途別比率



● 主な完成工事



GLP北本
埼玉県北本市

発注者：日本GLP株式会社



JR春日井駅南東地区第一種市街地再開発事業
愛知県春日井市

発注者：JR春日井駅南東地区市街地再開発組合



コートヤード・バイ・マリオット名古屋
愛知県名古屋市

事業者：株式会社読売新聞 東京本社



芦屋大原町HOUSE
兵庫県芦屋市

発注者：積水ハウス株式会社・野村不動産株式会社

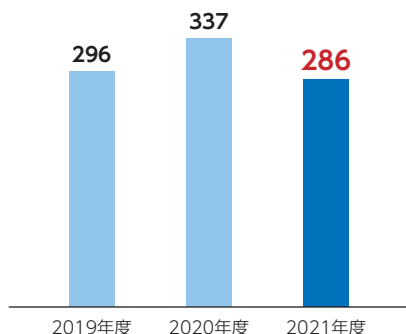
セグメント別概況／土木事業

売上高

286億円

(前期比15.0%減)

単位:億円

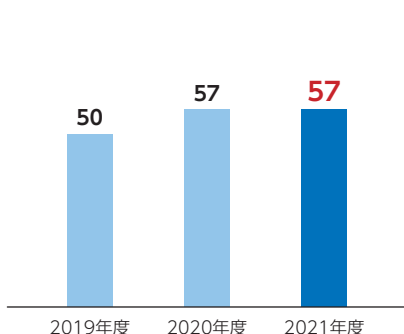


売上総利益

57億円

(前期比0.9%減)

単位:億円

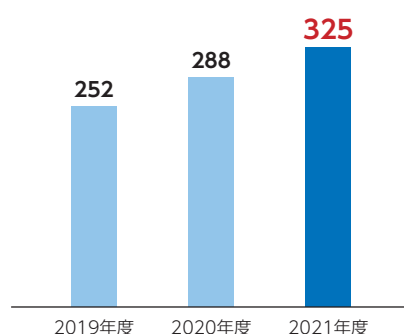


受注高

325億円

(前期比13.0%増)

単位:億円



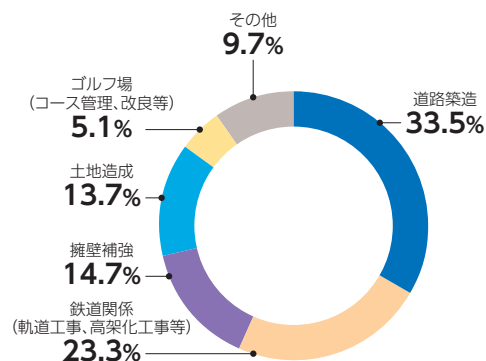
当期業績

売上高は、高速道路関連工事や北陸新幹線の新設工事を中心に大型の官庁工事が大きく進捗した**前期実績に比べ減少**しました。

売上総利益は、工事全体の採算が改善したものの、売上高の減少の影響が大きく**前期実績を若干下回り**ました。

受注高は、官庁工事や民間の造成工事、鉄道土木工事などの大型工事を受注したことにより、**前期実績を上回り**ました。

売上高の用途別比率



● 主な完成工事



令和元年度 東海環状志津第1高架橋P14橋脚工事
岐阜県海津市

発注者:国土交通省 中部地方整備局



刈谷市今川町造成工事
愛知県刈谷市

発注者:アイシン開発株式会社



平成30年度高速1号楠線床版等修繕工事(五反田工区)
愛知県名古屋市

発注者:名古屋高速道路公社



犬山線 布袋駅付近鉄道高架化事業に伴う本線土木工事
愛知県江南市

発注者:名古屋鉄道株式会社

※駅舎(建築工事)及び線路(鉄道工事)も当社が施工

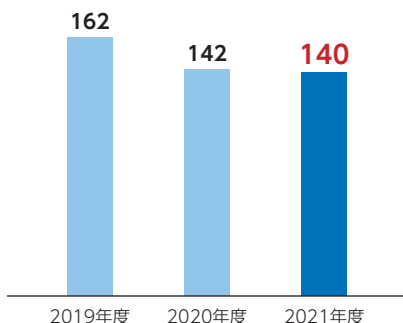
セグメント別概況／不動産事業等

売上高

140億円

(前期比0.8%減)

単位:億円

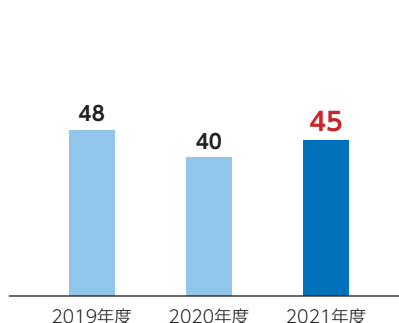


売上総利益

45億円

(前期比13.6%増)

単位:億円

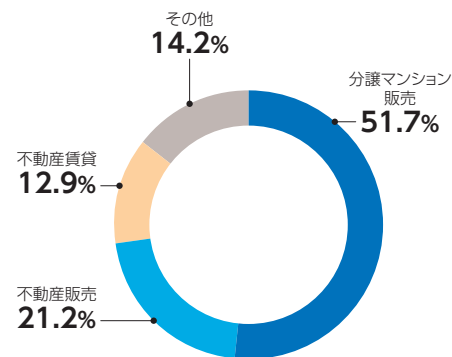


当期業績

売上高は、自社開発の産業用地販売は増加したものの、分譲マンションの引渡戸数が減少し、戸当り単価も低下したことなどから、**前期実績を下回りました**。

売上総利益は、自社開発の産業用地の販売が寄与し、**前期実績を上回りました**。

売上高の用途別比率



●主な開発完了物件



グランフォーリア安城
愛知県安城市

事業者: 矢作地所株式会社・
トヨタホーム株式会社



**バンベール刈谷
マスターコート**
愛知県刈谷市

事業者: 矢作地所株式会社



バンベール左京山
愛知県名古屋市長

事業者: 矢作地所株式会社



バンベール三好ヶ丘
愛知県みよし市

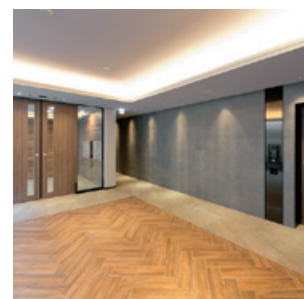
事業者: 矢作地所株式会社

プロジェクトの紹介(既存事業の深化・進化)

パークアクシス芝浦キャナル

全景

各所風景



●工事説明

当プロジェクトは、総戸数109戸(1DK 91戸、2LDK 18戸)の賃貸マンション工事で、当社は設計と施工を担当しました。発注者である三井不動産レジデンシャル株式会社と既存建物がある段階から新築工事に関する打合せを行い、施工に関しても同様に連携をとりながら検討を進めることで、解体工事を進めつつ新築工事の課題を早期に把握し解決することができました。運河と首都高速道路に挟まれた厳しい条件での施工でしたが、これまで東海圏を中心に培ってきたマンション工事の施工・設計監理の経験やノウハウを関東圏でも遺憾なく発揮することができ、本年1月無事竣工しました。

所在地 東京都港区
工期 2020年8月～2022年1月
発注者 三井不動産レジデンシャル株式会社
設計者 矢作建設工業株式会社

工事概要

●集合住宅
構造:鉄筋コンクリート造
階数:10階
建築面積:519.24㎡
延床面積:4,279.34㎡
戸数:109戸

●工事所長コメント

解体工事から新築工事まで、約1年半の工事期間を通してコロナ禍での作業となりましたが、厳しい施工条件下にあって日々の感染予防対策を徹底し、感染者を出さずに工事を竣工させることができました。ご協力いただいた全ての方に感謝申し上げます。



工事所長
三輪 武志

新東名高速道路 御殿場インターチェンジ工事

全景



施工中風景



●工事説明

新東名高速道路・新御殿場ICを中心とした全長約1,000mの御殿場工区と、700mの小山町工区から成る高速道路建設工事で、竣工に先駆けて2021年4月に御殿場JCT～新御殿場IC間が開通しました。特殊な性質を持つ土砂による盛土区間が多いため、細心の注意を払って工事を進めてきました。6年を超える工期の中で、多くの技術提案が採用されたことは、これまで社会資本整備で培ってきた経験の賜物と考えています。また今回の工事では、多くの若手技術者にも経験を積ませることができました。彼等とともに、これからも日本のインフラ整備に貢献していきます。

工事場所 静岡県駿東郡小山町
～静岡県御殿場市

工期 2016年1月～2023年1月

発注者 中日本高速道路株式会社

工事概要

●道路築造
道路掘削: 31万㎡
盛土工: 88万㎡
溝渠工: 14基
管渠工: 1基
擁壁工: 約950m
橋脚・橋台: 9基
基礎工: 約360m

●工事所長コメント

施工区間が長く、多くの工種を伴う工事でしたが、建設ICTを活用し、業務効率化を進め、施工管理体制を強化しながら施工しております。今後も新技術を積極的に採用しつつ、基本に忠実な施工管理に努め、安全と品質の向上を図ってまいります。



工事所長
奥村 逸郎

プロジェクトの紹介(既存事業の深化・進化)

産業用地開発事業(三重県桑名市多度町)「(仮称)アイミッションズパーク桑名開発事業」

完成予想図

造成風景



●事業説明

当社では「新しい土地・新しい建物で事業を開始したい」、そうお考えになるお客様にお応えすべく、当社が事業主として産業用地を開発し企業誘致を進めています。本プロジェクトはそのひとつで、三重県桑名市にある約82,000㎡の敷地を物流倉庫用地として開発を進めたものであり、当社の設計・施工で伊藤忠商事株式会社と伊藤忠都市開発株式会社がホームセンターを展開する株式会社カインズ向けに地上4階建て延床93,000㎡を超える物流施設を建設するものです。地権者交渉から始まり土地開発、企業誘致、建築工事までの一連の流れを当社が担うこの事業には、蓄積されたノウハウの活用のみならず「地域やお客様からの信頼」を得ることが必要です。これからも社会の要請にこたえる事業を積み重ねていきます。

所在地 三重県桑名市
事業期間 2018年4月～2023年6月
用地開発・土地売主 矢作建設工業株式会社
事業者 伊藤忠商事株式会社・伊藤忠都市開発株式会社
設計・施工 矢作建設工業株式会社

開発概要

●用地規模
開発面積:82,149㎡
●建物規模
構造:鉄骨鉄筋コンクリート造(1~3階)
鉄骨造(4階)
延床面積:93,604㎡

●プロジェクトリーダーコメント

当初区画整理で検討していた事業を当社による自社開発事業に方針転換したことで用地取得から販売まで約3年という異例のスピードで事業を完了しております。今後も事業を通じて様々な地域社会の活性化と発展に取り組んでまいります。



プロジェクトリーダー
赤堀 元治

トピックス(新規分野・領域の探索・開拓)

土地区画整理事業(大阪府八尾市郡川)

本事業は、大阪府八尾市郡川において民間事業者の土地区画整理事業に関するノウハウ(事務運営及び事業施行)や資金等を活用して、円滑な事業推進と確実な保留地処分(※1)を行うことを目的とした区画整理事業で、一括業務代行方式(※2)を採用しており、当社がその業務代行者として選定されました。

当社は事業資金の立替や保留地処分等一定のリスクをとりつつ、完成後の宅地形状や利用形態について区画整理組合に対する確かな助言を行い、あわせて当社のネットワーク

を最大限に活用し、物流施設と工場の誘致に成功しました。

現在、当社の設計施工による物流施設及び工場の建築工事を進めており、同区域内に商業施設の誘致も予定しています。今後も新たな事業分野への取組みの一環として、これらの事業ノウハウを積み重ねていきたいと考えています。

※1 保留地処分 事業費に充当するために、区画整理地内の土地を売却すること
※2 一括業務代行方式 民間事業者が保留地の引き取りなどを条件に区画整理事業における業務の全てを代行する手法

事業概要

事業名称	東部大阪都市計画事業郡川土地区画整理事業
施行者	八尾市郡川土地区画整理組合
施行地区	大阪府八尾市郡川一丁目、教興寺一丁目及び服部川一丁目の各一部
地区面積	約7.5ha
権利者総数	60名
総事業費	約32億円
施行期間	2019年12月～2023年3月
業務代行者	矢作建設工業株式会社(一括業務代行方式)
主な進出予定企業	日本GLP株式会社、廣内庄延工業株式会社、株式会社フォレストモール



▲ 完成予想図(物流施設)



▲ 施工中風景

トピックス(つくる(造る・創る)力の増強)

■ 当社最大規模の建築工事「DPL名港弥富 I」

近年増加している大型物流施設について、当社においてもその需要に対応すべくノウハウの蓄積を図ってまいりました。その結果一昨年、これまでで最大規模の建築工事「DPL名港弥富 I」を受注することができました。

工期短縮と耐震性能向上のために、SRC(鉄骨鉄筋コンクリート)構造を計画初期の段階から提案したことをはじめ、自社開発技術を各所に適用し、経済性・設計自由度など高い評価を得ることができました。

品質面では、SRC構造採用に伴う柱コンクリートの充填性など、課題をいち早く予見し、事前の実大施工検証を経て手順確立につなげました。施工面では、鉄筋先組工法やランプ(スロープ)手摺プレキャスト化などの省人化施工を採用し、現場作業低減による安全性向上にも寄与しました。これらの検証データを蓄積・整備し、今後更なる「つくる力の増強」を進めてまいります。



▲ 完成予想図



▲ 施工中風景

所在地 愛知県弥富市
工期 2020年11月～2022年6月
発注者 DH弥富開発特定目的会社
設計者 矢作建設工業株式会社

工 事 概 要	●物流施設
	構 造:鉄骨鉄筋コンクリート造
	階 数:4階
	延床面積:210,360㎡



▲ 施工中風景

SDGsへの取組み (持続的成長への基盤構築)

安全・安心で快適なまちづくりの推進

防災・減災技術をはじめ、これまで当社が培ってきた建設に関する様々な技術・ノウハウを活用し、安全で強靱な建設物を提供します。



パンウォール工法

当社は、独自の地山補強土壁工法「パンウォール工法」を全国で展開しています。本工法は、鉄筋コンクリート二次製品のパネルと鉄筋棒などの補強材の組み合わせで構成されており、地山の緩みを押さえながら上から下へパネル1段ずつ壁面を完成させていく逆巻き施工が最大の特長です。

SDGsへの貢献

1. 防災・減災・国土強靱化

高い耐久性及び優れた耐震性により、強靱なインフラの構築に貢献

2. 環境への配慮

掘削を減らして地形の改変を最小限にとどめ、森林の減少抑制やCO₂排出削減に貢献

3. 多様な人財の活躍

多言語に対応した施工マニュアルを整備し、多様な労働者が働ける環境を提供

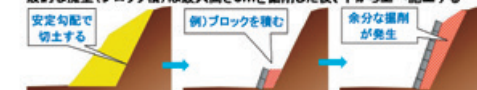
パンウォール工法



施工手順

パンウォール工法の特長

一般的な擁壁(ブロック積)は最大高さ5mを掘削した後、下から上へ施工する



パンウォール工法は最大高さ20mを上から下へ安全に効率的に施工できる



上から構造物を作っていく

工事影響範囲



今後の事業展開

近年の気候変動に起因する自然災害の激甚化や国土強靱化政策により、防災・減災分野に対するニーズが高まっております。「パンウォール工法」は、これら社会的要請に応える工法として更なる需要拡大が見込まれます。

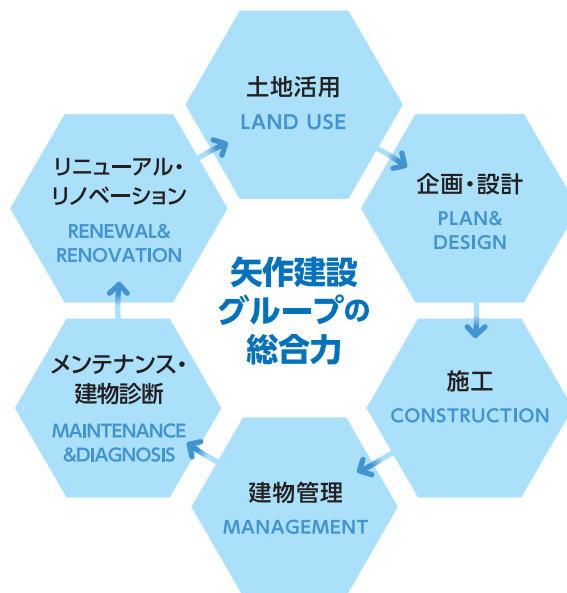
今後、更なる事業拡大と収益の向上を目指すため、中期経営計画に基づき研究開発を通じた工法の改良や生産性の向上、営業活動の活発化、施工体制の増強、安全・品質などの信頼性向上などに戦略的かつ計画的に取り組んでまいります。

矢作建設グループの概要

建設エンジニアリングによる 新たな価値のご提案

私たちの考えるエンジニアリングとは、安全性や経済性、実用性を兼ね備えた、社会にとって有用なモノや快適な環境をつくり出すことです。

この目的を追求していくために、これまで培ってきた建築、土木の専門的な技術や知識に加え、土地や資金、情報等の様々な要素を統合することで、建物のライフサイクルのあらゆる場面において、お客様のニーズを上回る付加価値を生み出していきます。



●グループ会社概要 (2022年6月29日現在)

会社名	矢作地所株式会社	矢作ビル&ライフ株式会社	ヤハギ緑化株式会社	株式会社テクノサポート	ヤハギ道路株式会社	南信高森開発株式会社
事業内容	分譲マンション事業 不動産開発事業 不動産賃貸事業 不動産流通事業	マンション管理事業 不動産管理事業 建築事業 サイン事業 損害保険代理業 ウッドピタ事業 (木造戸建住宅耐震補強工法) 分譲マンションカスタマーサービス事業	緑化事業 ゴルフ場コース 管理事業	パンウォール事業 (補強土壁工法) ピタコラム事業 (外付耐震補強工法) 建設工事、技術開発、 試験体製作	舗装事業 土木事業 アスファルト合材 製造販売事業 リサイクル事業	ゴルフ場経営 (高森カントリークラブ)
住所	愛知県名古屋市中区	愛知県名古屋市中区	愛知県名古屋市中区	愛知県名古屋市中区	愛知県豊田市中区	長野県下伊那郡高森町
設立	1967年7月	1967年7月	1972年2月	2000年4月	2001年10月	1977年5月
資本金	800百万円	400百万円	100百万円	50百万円	300百万円	50百万円
出資比率	100%	100%	100%	100%	100%	100%

会社情報・関連会社紹介

会社情報

会社概要

商号	矢作建設工業株式会社
設立	1949年5月14日
資本金	68億8百万円

主な事業所

本社 愛知県名古屋市東区葵三丁目19番7号
エンジニアリングセンター(愛知県長久手市)
鉄道技術研修センター(愛知県名古屋市)
東京支店(東京都中央区)
東北支店(宮城県仙台市)
大阪支店(大阪府大阪市)
広島支店(広島県広島市)
九州支店(福岡県福岡市)

株式及び株主

発行可能株式総数	100,000,000 株
発行済株式総数	44,607,457 株
株主数	5,009 名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
名古屋鉄道株式会社	8,282	19.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,482	8.0
矢作建設取引先持株会	2,583	6.0
株式会社りそな銀行	2,047	4.7
株式会社三菱UFJ銀行	2,047	4.7
有限会社山田商事	2,005	4.6
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,283	3.0
矢作建設工業社員持株会	1,271	2.9
日本生命保険相互会社	833	1.9
株式会社横浜銀行	762	1.8

(注) 持株比率は自己株式(1,204千株)を控除して計算しております。

関連会社紹介

ヤハギ道路株式会社

設立	2001年10月2日
資本金	3億円(2022年3月31日現在)
代表者	愛知県豊田市小坂本町一丁目5番10号
従業員	取締役社長 櫻井 正典
売上高	72名
	67億63百万円(2022年3月期)

事業内容

舗装事業

土木事業

アスファルト合材製造販売事業

リサイクル事業



保水性舗装(クールペーブ)



土木工事



アスコン・リサイクルセンター

ウェブサイトのご紹介

矢作建設グループのホームページをご紹介します。当社の様々な情報を掲載しておりますのでぜひご覧ください。



重要なお知らせ

IRニュース等のうち、重要な情報等をタイムリーに公開しております。

IR情報

財務ハイライト、決算情報、IRカレンダーなど投資関連情報を公開しております。

プロジェクト

当社が手掛ける代表的なプロジェクトの進捗状況等を紹介しております。

実績紹介

建築、土木、防災・減災の各分野における当社の工事実績を紹介しております。

<https://www.yahagi.co.jp/>

矢作建設

検索

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日
定時株主総会:毎年3月31日
期末配当金:毎年3月31日
中間配当金:毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人及び特別口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所
名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵送物送付先]
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先] ☎0120-782-031
[インターネットホームページURL]
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
- 上場金融商品取引所
東京証券取引所 名古屋証券取引所

- 公告方法
当社のホームページに掲載します。
https://www.yahagi.co.jp/ir/public_notice/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
- 株式に関する住所変更等のお届け及びご照会について
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届け及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記電話照会先にご連絡ください。
- 特別口座について
株券電子化前に証券会社等の口座に預託されなかった株式につきましては、左記特別口座の口座管理機関にて記録され管理されております。特別口座に関するご照会等は、左記電話照会先をお願いいたします。
- 単元未満株式のお取扱いについて
1単元(100株)未満の当社株式をご所有の株主様は、単元未満株式の買取または買増請求をすることができます。詳しいお手続き内容及び必要書類等は、左記電話照会先にお問い合わせください。(証券会社の口座で株式をお持ちの方は、お取引先の証券会社にお問い合わせください。)



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

